

# 会 議 録

会議の名称	令和元年度（第1回）白岡市総合教育会議
開催日	令和元年5月15日（水）
開催時間	午前10時50分 から 午前11時55分 まで
開催場所	白岡市立菁莪小学校 3階 多目的室
出席者（出席構成 員）の職・氏名等	白岡市長 小島卓 白岡市教育長 長島秀夫 白岡市教育長職務代理者 牛田文子 白岡市教育委員 新井二郎 白岡市教育委員 山崎美佐江 白岡市教育委員 和田 玲子 (計：6人)
欠席者（欠席構成 員）の職・氏名等	なし (計：0人)
事務局職員の 職・氏名	副市長 野口仁史 学校教育部長兼教育総務課長 河野 彰 生涯学習部長 篠塚 淳 参事兼教育指導課長 石崎昌稔 参事兼学び支援課長 阿部千鶴子 いきいき教育課長 中太隆明 総合政策部長 上ノ原彰宏 参事兼企画政策課長 齋藤 久 企画政策課 主幹 小島 浩 企画政策課 主査 高垣真希 教育総務課 課長補佐 高澤憲司 教育総務課 主査 木村真由美
その他会議 出席者	傍聴 3名
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 学校給食に係る地産池消に向けた取組について (2) 白岡市スポーツ推進委員の活動について 4 その他 5 閉会

配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会議次第</li><li>・ 学校給食に係る地産池消に向けた取組について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1</span></li><li>・ 白岡市スポーツ推進員の活動について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 2</span></li></ul>
------	--

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
上ノ原部長 (総合政策部)	<b>1 開会</b> 上ノ原総合政策部長の進行により会議が開会した。
小島市長	<b>2 挨拶</b> 小島市長から開会挨拶が行われた。
小島市長	<b>3 議事</b> 小島市長が議長となり、議事進行が行われた。
河野部長兼課長 (教育総務課)	<b>(1) 学校給食に係る地産池消に向けた取組について</b> 教育総務課から資料1に基づき説明が行われた。
C委員	<b>(質疑)</b> 県内産の食材使用量が19.1%の理由としては、作物の種類が少ないのか、全体量が少ないのか。
河野部長兼課長 (教育総務課)	19.1%の算出方法について、県の調査では、献立に使われる食材の数を分母とし、県内産の食材の数を分子とする方法で算出する。 時期は、6月と11月の特定の5日間を調査し平均をとるため、年間での数値ではない。
D委員	19.1%という数値の理由について、教育委員会はどのように考えているのか。
河野部長兼課長 (教育総務課)	数値を上げるために、その時期に献立を変更し県内産を多く取り入れることも可能ではあるが、当市は通常どおりの献立としているため、年間においても類似した数値であると考えられる。しかし、この率を上げるための取組は必要と考えている。 県内産食材の確保については、食材納入業者へ確保できるように話しているが、給食費に関連する部分でもあり、バランスを考えながら県内産の食材を取り入れるようにしている。

長島教育長	<p>学校周辺にも田んぼが広がっており、米作りが行われている。子供たちも学校の授業を通し、田植えや稲刈りの体験を行っているが、白岡産の米が給食に提供されているということを、子供たちは知っているのか。</p> <p>学校だよりや給食の献立等に掲載し、知ってもらえる取組を行政として行ってはどうか。</p>
河野部長兼課長 (教育総務課)	<p>米については、減農薬米を給食用に栽培していただいております、給食の献立表に産地を記載しているが、白岡産を使用しているという観点でのPRは不足していると感じている。</p> <p>子供たちには、白岡産であると感じながら繰り返し給食をとることで、地産地消という考え方が身についていくと考える。</p>
長島教育長	<p>味彩センターで販売されている米には、白岡産減農薬米との表示がされている。</p>
B委員	<p>白岡産の食材を学校給食で使用し、それを食べることで子供たちは白岡に対する愛着を深めると考えられるが、現在、10校分の学校給食に協力をしている生産者はどれくらいあるのか。</p> <p>今後、生産者が減少すると白岡産の食材を学校給食で提供できなくなるという問題があるのではないかと。また、生産者と子供たちが交流を行うことで、生産者にやりがいを感じてもらい、それが食材の確保へとつながるのではないかと。</p>
小島市長	<p>学校給食の食材を提供している生産者等の把握をしているか。</p>
齋藤参事兼課長 (企画政策課)	<p>学校給食への白岡産食材の供給は、味彩センターを通して行っているため、味彩センターに登録をしている生産者が出荷したものが学校給食として提供されている。また、教育委員会から食材納入業者にも積極的に県内産を調達するよう依頼をしているところである。しかしながら、生産者の高齢化や後継者不足、生産面積の減少、近年では天候不順による農作物の不作等もあり、学校給食で提供する量の食材が確保しにくいという課題がある。さらに、味彩センターでは、各学校への食材を配達する担い手がないという課題も挙げられる。</p>
小島市長	<p>議会でも地産地消という議題が取り上げられたが、拡大が難しい部分があるがどうか。</p>
河野部長兼課長	<p>野菜等は季節ものであるため、生産時期が重なる。生産者には時期の調整</p>

(教育総務課)	を依頼し、一つでも多くの食材が学校給食として提供できるよう積極的に働き掛けていく。
C委員	生産者の高齢化や後継者不足等の現状を考えると、19.1%という数値はなかなかの数値ではないか。数値にとらわれず現状維持をお願いしたい。できる範囲で白岡産・県内産の食材を取り入れていけばよいと考える。
河野部長兼課長 (教育総務課)	19.1%の数値は県内産を含んだ数値であるため、白岡産をできるだけ増やしたいと考えている。また、数値よりも白岡産・県内産の食材を学校給食で使用している状況をよりPRし、児童・生徒に理解してもらうことが食育につながると考える。
A委員	女子栄養大学と連携しメニューなどを考え、子供たちに食の大切さを教えているが、調理実習などを通し、食育について一緒に考えていくことも大切と考える。
小島市長	女子栄養大学との取組はどのような状況であるか。
齋藤参事兼課長 (企画政策課)	大学教授の指導や大学生の協力を仰ぎながら毎年メニュー作りを行っている。この取組は、学校給食を通じ、郷土愛・健康・食文化について考えることも目的としており、引き続き大学と連携していきたいと考える。
A委員	新メニューができると試食をさせていただいている。私は試食会に参加することを楽しみにしているが、メニュー作り等に参加した子供たちは、それ以上に楽しみにしていると思う。今後とも、この事業を継続していただきたい。
野口副市長	児童・生徒に郷土に対する誇りや愛着を持ってもらうために、白岡産・県内産の食材を使用することは大切である。生産者の減少について、仕方がないと捉えるのではなく、将来に向け都市近郊農業の在り方を市の政策として考えていかななくてはならないと考える。
小島市長	今までの内容から白岡市の現状について、理解していただけたと考える。
B委員	現状を維持し、子供たちの食育に努めてもらいたい。
D委員	PRの方法として、スーパーなどで見かけるように生産者の写真があると親しみが湧くのではないか。子供たちにもそのような形でお知らせをすると

<p>小島市長</p>	<p>よいのではないか。</p> <p>議題1については、関係団体と連携をしながら前向きに取り組んでいくようお願いする。</p>
<p>中太課長 (いきいき教育課)</p>	<p><b>(2) 白岡市スポーツ推進委員の活動について</b></p> <p>いきいき教育課から資料2に基づき説明が行われた。</p>
<p>C委員</p>	<p><b>(質疑)</b></p> <p>体力テストを行い、その結果についてアドバイスをしたり、イベントへの参加を呼び掛けたりすることはあるのか。</p>
<p>中太課長 (いきいき教育課)</p>	<p>体力テストは、統計をとることが目的であるため、指導等を行わない。体力テストの結果から体力の変化を感じてもらうものである。</p>
<p>A委員</p>	<p>市民ハイキングの参加者は高齢者もいるということだが、行き先は下見を行い決定するのか、行ったことがある人からの聞き取りで決定するのか。</p>
<p>中太課長 (いきいき教育課)</p>	<p>行き先は、下見を行い決定している。今年度は、高齢者でも参加できる平坦な場所を選定したい。</p>
<p>B委員</p>	<p>スポーツ推進委員の方は、定年退職等により時間のある方が多いとはいえ、このような活動を行うことは大変なことであると考えているが、任命については、人からの紹介や公募等どのような方法で決めているのか。</p>
<p>中太課長 (いきいき教育課)</p>	<p>スポーツ推進委員の方からの紹介や公募によるものもある。現在1名の欠員がある。また、応募いただいても内容・日程等が合わずに辞退されたケースもある。近隣市町においても欠員があり人集めに苦勞していると聞いている。</p>
<p>B委員</p>	<p>軽スポーツなど参加者に応じた指導を行っていただいております、大変感謝している。今後とも、白岡市の生涯スポーツの推進に取り組んでいただきたい。</p>
<p>小島市長</p>	<p>それでは、以上で本日の議事は全て終了とする。</p> <p>円滑な議事進行に御協力を賜り、感謝申し上げます。</p>

<p>齋藤参事兼課長 (企画政策課)</p> <p>上ノ原部長 (総合政策部)</p>	<p><b>4 その他</b> 次回の総合教育会議の開催について（事務局説明）</p> <p><b>5 閉会</b> 上ノ原総合政策部長の閉会宣言により終了 <span style="float: right;">【11:55 終了】</span></p>
---	--

## 学校給食に係る地産地消に向けた取組について

### 1 学校給食の法令上の位置付け

学校給食法

#### (1) 学校設置者の任務（第4条）

義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならない。

#### (2) 学校給食の目標（第2条）

ア 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。

イ 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。

ウ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

エ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

オ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。

カ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。

キ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

#### (3) 経費の負担（第11条）

学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費は、義務教育諸学校の設置者の負担とする（人件費、施設設備の修繕費）。

上記以外の学校給食に要する経費は、学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担とする（食材費）。

## 2 学校給食の区分等

### (1) 学校給食の区分（学校給食法施行規則第1条）

- ア 完全給食（給食内容がパン又は米飯、ミルク及びおかずである給食）  
小学校（98.5%）、中学校（86.6%）
- イ 捕食給食（完全給食以外の給食で、給食内容がミルク及びおかず等である給食）  
小学校（0.3%）、中学校（0.4%）
- ウ ミルク給食（給食内容がミルクのみである給食）  
小学校（0.3%）、中学校（2.9%）

（割合は、平成30年5月1日現在）

### (2) 調理方式

- ア 単独調理方式（自校方式） 42.4%
- イ 共同調理方式（給食センター方式） 54.1%
- ウ 外部委託方式（デリバリー方式） 3.5%

（平成29年5月1日現在）

## 3 地産地消に向けた取組について（食材の選定）

地元産（県内産）の食材の使用について

国・埼玉県の目標 30%以上（埼玉県の現状 23.7%）

白岡市の現状 19.1%

これまで使用した主な地元食材（白岡産）

米（減農薬米）、ねぎ、なし、トマト、みそ（母ちゃんみそ）など

新たな野菜の使用 ニンジン、たまねぎ、じゃがいもなど

- ・今後のさらなる地産地消へ向けた取組みの課題など

作り手の確保（量、質の確保）（高齢化）

→生産者の満足度向上→生産者と児童、生徒との試食会の開催など

学校への配送手配→しらおか味彩センターでの配送ができるか？

- ・市農政課・しらおか味彩センターとの連携協力の推進が必要

#### 4 学校給食に係る栄養士等管理体制について

- ・ 栄養士の配置状況

学校栄養士 6 人（県費 4 人、市費 2 人）

教育委員会 2 人

計 8 名の栄養士

- ・ 献立の検討等

献立検討会 月に 1 回

物資部会 月に 1 回

発注会 月に 1 回

給食用食材放射性物質測定 月に 2 回

- ・ 運営上の課題等

アレルギー対策 完全除去方式へ移行

異物混入の対策 衛生管理対策（検品の徹底など）

給食費の問題 滞納対策、徴収方法（公会計方式など）

学校給食に対する理解度の向上→児童、生徒との試食会などイベント等の実施

施設設備の老朽化等→計画的な更新等

# 白岡市スポーツ推進委員の活動について

## 1. スポーツ推進委員とは

スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第 32 条に基づき、市教育委員会が委嘱する非常勤の職員です。白岡市には 17 名（平成 31 年 4 月 1 日現在：任期 2 年）のスポーツ推進委員がおり、市民スポーツの推進のため、スポーツ教室、大会等の実施にあたり、参加者への実技指導やスポーツに関する助言を行っております。

参考 スポーツ基本法第 32 条  
第 32 条

市町村の教育委員会(特定地方公共団体にあつては、その長)は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則(特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則)の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

## 2. 平成 30 年度 白岡市スポーツ推進委員 活動実績

### ①軽スポーツ教室

平成 30 年 6 月～12 月 8 回実施【篠津小学校体育館】

実施種目：ファミリーバドミントン、フロアカーリング

### ②アダプテッドスポーツ教室

平成 30 年 5 月～平成 31 年 2 月 5 回実施【勤労者体育センター】

実施種目：四面卓球、ほーるボール

### ③新体力テスト

平成 30 年 9 月 8 日（土）【南小学校体育館】 体力・運動能力の統計調査

### ④第 22 回市民ハイキング

平成 30 年 10 月 13 日（土）【東京都八王子市 陣馬山】

### ⑤さいかつぼーる交流大会

平成 30 年 10 月 27 日（土）【篠津小学校体育館】

### ⑥平成 30 年度雪上体験教室

平成 31 年 1 月 26 日（土）【赤城少年自然の家】 そり滑り、雪合戦

### 3. 平成30年度 白岡市スポーツ推進委員 活動風景

#### ①軽スポーツ教室

市民が生涯にわたり健康に暮らせるように、身体を動かすきっかけとして軽スポーツ教室を実施しました。家族での参加が多く、みんなで楽しく体を動かすことができました。



「ファミリーバドミントン」

3対3で行うバドミントン。  
シャトルの先端にスポンジがついており、スマッシュも禁止されているため、どなたでも参加できる。



「フロアカーリング」

氷上以外の体育館等で行うことができるカーリング。  
木製のフロッカーの下に車輪がついている。

#### ②アダプテッドスポーツ教室

障がいをお持ちのかたや高齢者、小さなお子さんなど、誰でも気軽に楽しめるスポーツ教室です。



「四面卓球」

卓球台の角の4人で1チームとし、鈴入り卓球ボールを相手の陣地に入れ点数を競うスポーツ。  
卓球台を2つ並べおり、ペットボトルでボールを打っている。



「ほーるボール」

白岡市スポーツ推進委員アダプテッドスポーツ部会で考案したスポーツ。大きなバケツに柔らかいガンバルーンを投げて、入るまでの回数を競う。

### ③新体カテスト

平成30年9月8日(土)に南小学校体育館において、新体カテストを行いました。20歳から64歳までの参加者が8名、65歳以上の参加者が9名、総勢17名が自身の体力を調べました。

○身長・体重・血圧・健康チェック		
テスト項目		
握力	20～64歳	65～79歳
上体起こし	○	○
長座体前屈	○	○
反復横とび	○	-
立ち幅とび	○	-
開眼片足立ち	-	○
10m障害歩行	-	○
6分間歩行	-	○
20mシャトルラン	○	-



成人を対象とした体カテスト。スポーツ推進委員が審判を行いまして、握力や長座体前屈、腹筋、シャトルラン等の体カテストを行いました。

スポーツテストを毎年続けることで、ご自身の体の状態の変化を知ることができます。

### ④市民ハイキング

#### 「第22回市民ハイキング」

平成30年10月13日(土)に第22回市民ハイキングを実施しました。31名の参加者と14名のスポーツ推進委員で東京都八王子市陣馬山に登山をし、参加者全員無事に下山することができました。

参加者の約6割が市民ハイキングに参加をするのは初めての方でして、市民のスポーツをするきっかけづくりの場を提供することができました。



### ⑤さいかつぼーる交流大会

“さいかつぼーる”とは？

“さいかつぼーる”は、平成20年に埼玉県埼玉葛地区体育指導委員連絡協議会研修委員会で考案されたスポーツです。1チーム5人で構成されたチームがバドミントンコートを使用して、柔らかい「おにぎり型」のボールを打ち合います。

“さいかつぼーる”の特徴！

- ① 相手からのボールは、必ず1回バウンドさせなければなりません。
- ② ボールが「おにぎり型」のため、バウンド変化に富んだユニークな動きをします。
- ③ ボールが柔らかいので、痛くありません。



“さいかつぼーる”



平成30年度は、白岡市から3チーム、杉戸町から2チーム、蓮田市から1チーム参加し、熱戦が繰り広げられました。

### ⑥平成30年度雪上体験教室

平成29年度から市内の子供を対象に実施している雪遊び教室で、平成31年1月26日（土）に群馬県前橋市赤城少年自然の家において開催されました。

一般参加者38名（内保護者4名）は、白岡市では体験できない、雪遊びを思う存分に楽しみました。



「そり遊びの様子」



「雪合戦の様子」

#### 4. スポーツ推進委員名簿

白岡市スポーツ推進委員名簿				
			平成31年4月1日	現在
No.	役職	氏名	就任年月日	勤続年数
1	会長	甲 田 侃	平成3年4月1日	28
2	副会長	清 藤 繁	平成20年3月24日	11
3	副会長	古 川 修	平成22年8月11日	8
4	委員	長 島 美智子	平成11年4月1日	20
5	委員	新 井 あい子	平成19年5月7日	11
6	委員	吉 田 智 子	平成22年4月9日	8
7	委員	村 岡 彰	平成23年4月1日	8
8	委員	村 岡 夏 江	平成23年5月12日	7
9	委員	上 田 三千代	平成25年5月14日	5
10	委員	吉 松 光 夫	平成25年6月14日	5
11	委員	岸 順 子	平成28年4月1日	3
12	委員	岡 崎 真佐子	平成28年4月1日	3
13	委員	石 動 祐 司	平成28年11月11日	2
14	委員	小 沼 な み	平成29年5月12日	1
15	委員	園 田 真 一	平成30年4月1日	1
16	委員	石 渡 征 浩	平成31年4月1日	0
17	委員	大 橋 忠 夫	平成31年4月1日	0